

レオパレス21、開発型SPCを活用した不動産開発事業に参入

～第1弾は銀座でホテル開発を展開～

株式会社レオパレス21(本社:東京都中野区、社長:深山英世、以下レオパレス21)は開発型SPCを活用した不動産開発事業を展開します。

第1弾として銀座8丁目の物件を取得し、既存建物解体後にホテル開発を行います。他のホテルオペレーターへ運営委託することが決定しており、2019年秋頃の開業を予定しています。当地は銀座駅、新橋駅から約7分、周辺は多くの商業施設で賑わっており、2020年にむけて更なるインバウンド需要が見込めます。

■ 物件概要

住所	東京都中央区銀座8丁目11-11
面積	638.55㎡
交通	銀座駅・新橋駅から徒歩7分
階数(予定)	地上14階、地下1階
客室(予定)	190室
開業(予定)	2019年秋

当社の不動産事業は、これまで中層・低層の賃貸アパートの建築を中心に展開してまいりましたが、介護施設・商業施設といった建築バリエーションの拡大や商品ラインナップの拡充に加え、今後は不動産開発スキームや流動化スキームといったプロジェクトにも積極的に取り組んでいく方針です。上記銀座8丁目のホテル開発に加え、大阪(なんば)でもホテル開発事業に着手しており、また東京都心部でも新たなレジデンス物件を取得する予定です。なお、当社は利益の50%を国内外不動産投資、20%をM&A、30%を株主還元にあてる方針を掲げており、同事業は当方針に沿って展開しております。

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社レオパレス21 IR推進グループ TEL: 03-5350-0216